

## WEST 2016参加報告（速報）

（株）NSDコンサルティング

米軍と産学会のイベントであるWEST 2016に弊社から参加いたしましたのでご参考に報告をさせていただきます。

### 1. 概要

WESTはNaval Institute（海軍学会）とAFCEA（米軍通信電子協会）が米海軍、米海兵隊、米沿岸警備隊を対象に米国サンディエゴで共同開催するイベントです。今年のWEST 2016は2月17日から19日まで、サンディエゴ市コンベンションセンターで開催されました。今回は海軍作戦部長（CNO）、海兵隊司令官、太平洋艦隊司令官、海軍サイバーコマンド司令官、海軍N2/N6、各システムコマンド司令官等が参加いたしました。また、対談のゲストとして海上幕僚長（武居海将）が参加され、17日に講演を聴講されると共



に展示会場を視察され、18日午後のイベントとしてトーマス・ファーク元太平洋軍司令官との対談が行われました。



今年の主たるテーマは「Information Warfare」であり、米海軍内の一部にはまだInformation Dominanceという言葉が残っているものの、ほとんどInformation Warfareという新たな言葉に置き換えられています。米海軍CNOオ

フィスのN2/N6 (VADM Branch) によれば、このInformation Warfareとは「Warfare in Information Age」と定義できるものとの発言がありました。そして、Cyber SecurityもこのInformation Warfareの一部と捉えられています。

イベントは講演及びパネルセッションにおける発表と展示会が併設されています。講演やパネルセッションでは、テーマに沿ったものと、各開発に関するプログラムオフィスからの今後の予定等の発表がありました。展示会場には250社を超える企業がブースを設置しているとともに、軍のシステムコマンド (NAVSEA, SPAWAR, MCTSSA (海兵隊戦術システムSupport Activity) など) が自らの開発品や研究中のシステムを展示して、新たな技術を持つ企業との提携や提案に結び付けようとしていました。展示会の企業は、防衛産業大手 (ロッキード・マーティンやノースロップ・グラマン等) だけでなく、国防総省がスモールビジネスとして支援している特殊又は高い技術を持つ中小の企業が多くブースを構えて、各軍の隊員へのアピールと共に別の企業との新たなビジネス開発 (協業) に結び付けようとしていました。

## 2. 講演会・パネルセッション

Naval InstituteとAFCEAの共同開催ということで、テーマに関係する高官の出演する講演会とパネルディスカッション等が数多く開催されました。今回の講演とパネルディスカッション等は以下のとおりです。

### (1) 講演

#### △基調講演

○ADM James G. Stavridis, USN (Ret.)  
Former Supreme Allied Commander, Europe (2009-2013)

○VADM Joseph P. Mulloy, USN  
Deputy Chief of Naval Operations,  
Integration of Capabilities and Resources

○VADM Ted N. Branch, USN  
Deputy Chief of Naval Operations for Information Warfare N2/N6  
(本公演は録音を翻訳作業中)

○ADM Scott H. Swift, USN  
Commander, U.S. Pacific Fleet  
(本公演は録音を翻訳作業中)

○ADM John M. Richardson, USN  
Chief of Naval Operations



(本公演は録音を翻訳作業中)

海軍作戦部長の講演において、中国海軍をRIMPACに招待することについて質問が出たところ、「既に招待した。」「このような国際環境の中に彼らを入れることで、彼ら(中国海軍)の行動は改善される。」と回答がありました。終了後数人の聴衆と会話したところ、「作戦部長は中国に甘い認識を持っている。ハリー(太平洋軍司令官)の見解も聞きたいものだ。」「中国は単に海軍を国際環境の中に入れても、彼らは共産党指導部の元で動いているにすぎず、国際秩序に対する破壊が改善されることはない。」等の意見が聞かれました。

△部門別講演

○VADM Ted N. Branch, USN

Deputy Chief of Naval Operations for Information Warfare

○VADM Jan E. Tighe, USN

Commander, U.S. Fleet Cyber Command/

Commander, U.S. TENTH Fleet

○Mr. Tony Johnson, DISL

Technical Advisor, Navy Cyber and ISR Integration

Department of the Navy

○RADM David H. Lewis, USN

Commander, Space and Naval Warfare Systems Command

○RADM Christian Becker, USN

Program Executive Officer, PEO C4I & PEO Space Systems

○RADM Matthew J. Kohler, USN

Commander, Navy Information Forces Command

(2) パネルディスカッション等

△パネルセッション

○**How Do We Execute the Strategy?**

・ LtGen David H. Berger, USMC

Commanding General, I Marine Expeditionary Force

- VADM Nova W. Tyson, USN

Commander, THIRD Fleet

他 4 名

○ **Ground Domain Networking : PACOM Advancements and Challenges**

- Ms. Mary Woods

Deputy Program Executive Officer, U.S. Army, PEO C3T

他 4 名

○ **Information Warfare : Identifying the Gaps and Seams in Cyber Security**



- LtGen Robert M. Shea, USMC (Ret.) • • • Moderator

President and CEO, AFCEA International

- Mr. Robert Foster • • • Panelist

Chief Information Officer, Department of the Navy

- VADM Jan E. Tighe, USN • • • Panelist

Commander, U.S. Fleet Cyber Command/

Commander, U.S. TENTH Fleet

- BGen Dennis A. Crall, USMC

Director C4 and CIO of the Marine Corps

- RADM Marshall B. Lytle III, USCG

Assistant Commandant for C4IT, U.S. Coast Guard

Commander, U.S. Coast Guard Cyber Command

- VADM Ted N. Branch, USN

Deputy Chief of Naval Operations for Information Warfare

(本パネルセッションは録音を翻訳作業中)

○ **How Do We Deliver the Capabilities to the Warfighters When They Need Them?**

- VADM Peter H. Daly, USN (Ret.) • • • Moderator

CEO, U.S. Naval Institute

- RADM Bruce Baffer, USCG . . . Panelist  
Assistant Commandant for Engineering & Logistics, U.S. Coast Guard
- RADM Lorin Selby, USN . . . Panelist  
Commander, Naval Surface Warfare Center
- RADM David H. Lewis, USN . . . Panelist  
Commander, Space and Naval Warfare Systems Command
- VADM Paul A. Grosklags, USN . . . Panelist  
Commander, Naval Air Systems Command
- Col Benjamin P. Stinson, USMC . . . Panelist  
Commanding Officer, Marine Corps Tactical Systems Support Activity  
(本パネルセッションは録音を翻訳作業中)

△タウンホール(対談)

○**What is the View from the Western Pacific and Asia**

- ADM Thomas B. Fargo, USN (Ret.)  
Former Commander, U.S. Pacific Command  
海上自衛隊 海上幕僚長 海将 武居智久

○Luncheon Town Hall

- ADM James G. Stavridis, USN (Ret.) . . . Moderator  
Former Supreme Allied Commander, Europe (2009-2013)
- VADM Charles D. Michel, USCG

Vice Commandant, U.S. Coast Guard

- Gen Robert B. Neller, USMC

Commandant, U.S. Marine Corps

- ADM John M. Richardson, USN

Chief of Naval Operations

(本タウンホールは録音を翻訳作業中)

3. 展示会

展示会における各企業の展示を詳細にみると、米軍の目指しているKey Wordを求めることができます。今回、感じたKey Wordは「Cross Domain」ということでした。



Cross Domainと聞くと、宇宙・空中・地上・海上の各物理的空間を繋ぐものというイメージを浮かべますが、ここで言うCross Domainは異なるSecurityレベルを繋ぐものというものでした。現在、米軍に採用されているCross Domainの製品は異なるSecurityレベルにVideo情報を共有させるもの、またはチャットを共有させるもの、一部にデータ伝送を行うものが展示されていました。これらは、全てDoDによるITAR（国際武器輸出制限）の対象になっているということで、輸出はDoDの管理であることから、海外への技術移転等はFMSとなるであろうという話でした。

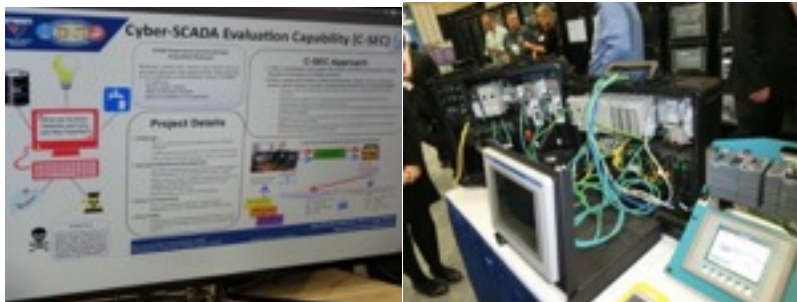
Cyber Securityは数多くの展示がされており、大手防衛企業から中小企業までそれぞれの製品が紹介されていました。今回のイベントにおけるKey MessageとしてはIsolationとIdentifyというものが目立ちました。



システムコマンドが展示ブースを持っているのがWESTの特長ですが、特にSPAWARがCANES（Consolidated Afloat Networks and Enterprise Services）の現状や実際のサーバーラックを展示していました。



また、制御系のCyber Securityが叫ばれているなかで、SPAWARとして開発中の検証システムを展示していたことが注目を集めていました。



MH-60Rのプログラムアップデートが当該プログラムオフィスから発表されることに合わせ、実際の機体が展示されていました。（MQ-8Bと共に。）



搭載型のサーバー等ハードウェア製品については、DELL（政府調達用の生産地は北米に指定されている。）、HP共にRugged Server等を展示しているとともに、同製品群の専門メーカー各社も最新の機種を展示していました。

Rugged Server市場は大きく、これだけ競っていても生き残れるだけの生産数があるということではないかと思われました。（因みに、日本のMRJは米国Crystal社のRugged ServerとReal Time OSのLinxOSを採用しています。）



展示会の気になる製品等については、別にWEST 2016展示会における製品等について纏めて報告いたします。